

各位

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス
代表者 代表取締役社長 武石 健次
(コード番号 3165)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 藤田 和弘
(TEL 03-3254-5361)

業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	60	70	40	16.25
今回修正予想(B)	18,778	△170	△255	△272	△110.56
増減額(B-A)	△2,222	△230	△325	△312	
増減率(%)	△10.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年9月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は平成29年9月期第4四半期より連結決算に移行しているため、平成29年9月期第2四半期実績は記載しておりません。

修正の理由

平成30年9月期第2四半期(累計)

LCDモジュール事業の不振と、インダストリアルシステム事業等が計画より進捗が遅れた等により、売上高は187億78百万円となる見込みです。これにより、営業損失が1億70百万円、また、下記の通りの為替差損の発生もあり、経常損失が2億55百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失が2億72百万円となる見込みです。

平成30年9月期通期

平成30年9月期通期の連結業績予想につきましては、太陽光セカンダリー事業において太陽光発電設備の売却を鋭意進めており、平成30年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、太陽光発電設備の売却及び為替相場の動向がより明確になり、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

※上記の業績予想は、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

● 営業外費用(為替差損)の計上について

昨今の為替相場の変動により、平成30年9月期第2四半期(累計)において営業外費用に為替差損1億82百万円を計上いたします。これは、主に外貨建て債権、債務の期末レートによる評価替えで発生したものであります。